

## 《土浦市で実施している予防接種のご案内》

本市では、乳幼児の予防接種を協力医療機関で実施しています。

個別の通知はありませんので、接種月齢になりましたら、お子さんの体調の良いときに接種を進めていきましょう。

**次の項目を満たす場合は、土浦市の公費負担が受けられます。**

- ① 対象年齢内 {
  - 定期接種は法律による対象年齢内
  - 任意接種は助成対象年齢内
- ② 接種日に土浦市に住民登録がある

### 定期接種(法律に基づく予防接種)

予防接種法で対象疾患および接種年齢が定められています。

国が接種を勧奨し、受ける側は「受けるように努めなければならない」とされています。(平成27年1月現在)

種別	標準的な接種期間	法律による対象年齢	別の種類の予防接種を受ける場合の接種間隔
<b>ヒブ (Hib)</b>	<b>初回接種 (3回)</b> 生後2か月～7か月未満に開始 (各回の接種間隔は27～56日間 3回目の接種は1歳前に終わらせる)	生後2か月～5歳未満	6日以上
	<b>追加接種 (1回)</b> 初回接種終了後7か月～13か月までの間隔をあけて接種	※接種開始が生後7か月以降の場合は接種回数が変わります。 ※1歳を過ぎたら、追加接種(1回)で終了となります。	
インフルエンザ菌b型による細菌性髄膜炎を予防するワクチンです。			
<b>小児用肺炎球菌</b>	<b>初回接種 (3回)</b> 生後2か月～7か月未満に開始 (各回の接種間隔は27日以上 3回目の接種は1歳前に終わらせる)	生後2か月～5歳未満	6日以上
	<b>追加接種 (1回)</b> 1歳～1歳3か月未満 (初回接種終了後60日以上あけて接種)	※接種開始が生後7か月以降の場合は接種回数が変わります。 ※追加接種は1歳になってから。 ※2歳を過ぎたら、追加接種(1回)で終了となります。	
肺炎球菌による細菌性髄膜炎を予防するワクチンです。			
<b>4種混合 (DPT-IPV)</b> (ジフテリア 百日せき 破傷風 ポリオ)	<b>1期初回 (3回)</b> 生後3か月～12か月未満 (各回の接種間隔は20～56日間)	生後3か月～7歳6か月未満	6日以上
	<b>1期追加 (1回)</b> 1期初回接種終了後1年～1年半までの間隔をあけて接種	※1期追加は1期初回終了後6か月以上あける。	
2期は2種混合(ジフテリア・破傷風)予防接種を11歳以上13歳未満で接種します。接種時期になりましたら予診票を送付します。			
<b>BCG</b>	生後5か月～8か月未満 (1回)	1歳未満	27日以上
結核の免疫をつけるワクチンを管針法(スタンプ式)で上腕の2か所に押し付けて接種します。			

種別	標準的な接種期間	法律による対象年齢	別の種類の予防接種を受ける場合の接種間隔
麻しん・風しん (MR)	1期(1回) 1歳～1歳3か月未満 ☆1歳になったら早めに接種しましょう。 2期(1回) 小学校就学前の1年間(4月1日～3月31日) 平成26年4月以降お生まれの方は、2期の予診票は接種時期(小学校就学前年の4月上旬)に送付します。	1期 1歳～2歳未満  2期 小学校就学前の1年間 (4月1日～3月31日)	27日以上
	麻しんは、麻しんウイルスの空気感染でうつる伝染力の強い重い病気です。麻しんまたは風しんにかかった場合などは、麻しんまたは風しん単独ワクチン接種もできますが、一般的には「麻しん風しん混合ワクチン」による接種となります。		
水痘 [みずぼうそう]	1回目 1歳～1歳3か月未満 2回目 1回目接種終了後6か月～12か月までの間隔をあけて接種  ※2回目の接種時に既に3歳に至っている場合は、2回目の接種は定期接種の対象となりません。	1歳～3歳未満  ※1回目と2回目の接種間隔は3か月以上あける ※平成27年3月31日までに限り、経過措置として、3歳～5歳未満で罹患歴や接種歴のない方は、1回接種。	27日以上
日本脳炎	1期初回(2回) 3歳 (1回目と2回目の接種間隔は6～28日間) 1期追加(1回) 4歳 (1期初回終了後1年の間隔をあけて接種)	生後6か月～ 7歳6か月未満	6日以上
2期は9歳以上13歳未満で接種します。接種時期になりましたら予診票を送付します。			

### 土浦市が助成を行う任意接種

種別	助成対象			次に別の種類の予防接種を行う場合の間隔
ロタウイルス (助成は1回あたり 上限5,000円、 2回まで)	ワクチンの種類	ロタリックス	ロタテック	27日以上
	接種回数	2回	3回(助成は2回まで)	
	接種期間	生後6週から24週0日まで	生後6週から32週0日まで	
現在国内では上記2種類のワクチンが使用されています。必ず1回目と同じワクチンで接種を完了しましょう。 1回目はできるだけ生後14週6日までに受けましょう。(ロタウイルスワクチンの場合は生まれた日を0日として数えます。別紙「ロタウイルス予防接種の週齢の数えかた」をご参照ください。)				
おたふくかぜ (助成は1回のみ)	1歳～小学校入学式前日まで			27日以上
水痘 [みずぼうそう] (助成は上限 4,200円 1回のみ)	接種日に5歳～小学校入学前(年長相当)で、これまでに水痘予防接種を受けたことがないお子さん。 ※水痘にかかったことのあるお子さんは接種の必要はありません。 ※平成27年3月31日までの経過措置となります。 (平成27年4月1日以降は3歳以上のお子さんの助成はありません。)			27日以上

※予防接種の内容は、法律の改正などにより変更が生じる場合があります。その際は、広報つちうら・市ホームページなどにてお知らせいたします。

## 接種料金について

上記の予防接種のうち、「ロタウイルス」と「任意接種の水痘」は一部自己負担があります。

※定期接種における「法律による対象年齢」外の接種、および任意接種における「助成対象年齢」外の接種は、全額自己負担になります。

※土浦市民でなくなった時（転出した場合など）には、土浦市の公費での接種はできません。

（転出届の「転出先（新しい住所）に住み始めた日」の欄に記載する日の前日まで土浦市の公費で接種できます。転出後の予防接種については、転出先の市町村にお問合せください。）

※協力医療機関以外にて接種する場合は、公費助成額を上限に償還払いとなります。

### 【償還払いについて】

任意接種を市外の医療機関で接種する場合や、定期接種を茨城県外の医療機関にて接種する場合は、償還払いにより公費助成額を上限に還付します。（償還払いとは、一時的に医療機関窓口にて料金を支払い、後に市への手続きにより助成額をお戻しする方法です。）

事前に（接種する1週間くらい前までに）土浦市健康増進課へ電話連絡をお願いします。接種の際に必要な書類等をお送りいたします。

## 予防接種を受けに行く前に

### ☆予防接種チェックリスト☆

✓	チェック項目
	協力医療機関に事前に連絡しましたか？
	今日のお子さんの体調は良いですか？ ※病気後の場合は、かかりつけの医師に相談しましょう。
	小冊子「予防接種と子どもの健康」を読んで、受ける予防接種について理解しましたか？
	予防接種の間隔はあっていますか？
	<b>母子健康手帳</b> は持ちましたか？ 母子健康手帳が無い場合は接種が受けられませんので、忘れずにお持ちください。
	<b>予診票</b> は持ちましたか？ 予診票は予防接種を受ける時の大切な情報です。責任を持って記入しましょう。
	<b>住所が確認できるもの（健康保険証など）</b> は持ちましたか？ 医療機関にて土浦市民である事を確認するために必要です。
	お子さんの健康状態をよくわかっている保護者の方が同伴しましょう。
	体温は医療機関で接種の前に計りましょう。

## 予防接種を受けた後の注意

- 予防接種を受けた後 30 分間は、お子さまの様子を観察してください。何かありましたら医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射部位をこすることはやめましょう。
- 接種当日は激しい運動はさげましょう。
- 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。
- ロタウイルス接種後は 1 週間程度便中にウイルスが排出されます。排出されたウイルスによって胃腸炎を発症する可能性は低いことが確認されていますが、念のため、おむつ交換後は手洗いをするなど注意してください。

## 各予防接種の副反応について

### ヒブ (Hib)

- 接種後 1 週間は、副反応の出現に注意しましょう。
- 接種部位の発赤、腫脹（はれ）、硬結（しこり）、痛みなどの局所反応が主です。
- 不機嫌、食欲不振、発熱がみられることもあります。

### 小児用肺炎球菌

- 接種後 1 週間は、副反応の出現に注意しましょう。
- 接種部位の発赤、腫脹（はれ）、硬結（しこり）、痛みなどの局所反応が主です。
- 発熱がみられることもあります。

### 4種混合

- 接種後 1 週間は、副反応の出現に注意しましょう。
- 接種部位の発赤、腫脹（はれ）などの局所反応は一般的に 3～4 日で消失します。接種回数が増えると、局所反応が強くなることもあります。硬結（しこり）は数か月残ることがあります。
- 発熱がみられることもあります。
- 機嫌が悪くなったり、腫れが目立つときはかかりつけの医師に相談しましょう。

### BCG

- 接種後 4 週間は、副反応の出現に注意しましょう。
- 副反応としては、接種した側のわきの下のリンパ節が腫れることがまれにあります。
- 接種後 10 日頃に接種局所で赤いポツポツができ、一部に小さく膿をもったりします。この反応は接種後 4 週間頃に最も強くなりますが、その後、かさぶたができて約 3 か月後には治ります。これは接種後の正常な経過ですので、普段どおりに清潔を保ちましょう。3 か月過ぎても接種のあとがジクジクしているようなときは医師に相談してください。
- お子さんが結核にかかったことがある場合は、接種後 10 日以内に接種部位が発赤、化膿が起こることがあります（コッホ現象といいます）。この場合は速やかに診察を受けてください。

## 麻しん・風しん

- ・接種後4週間は、副反応の出現に注意しましょう。
- ・主な副反応は発熱、発疹です。他に、接種部位の発赤、腫脹（はれ）、硬結（しこり）、じんましん、リンパ節腫脹、関節痛などがあります。

## 水痘（みずぼうそう）

- ・接種後4週間は、副反応の出現に注意しましょう。
- ・発疹、発熱、接種部位の発赤、腫脹（はれ）などがあります。

## 日本脳炎

- ・接種後1週間は、副反応の出現に注意しましょう。
- ・接種後2日以内に37.5℃以上の発熱、接種部位の発赤、腫脹（はれ）、発疹などがあります。

## ロタウイルス

- ・接種後4週間は、副反応の出現に注意しましょう。
- ・くすり、下痢、咳、鼻水、発熱、食欲不振、おう吐などがあります。
- ・腸重積（ぐったりする、泣きと不機嫌、おう吐を繰り返す、イチゴジャム状の血便など）、高熱、けいれんなど異常な症状がみられた場合には、速やかに医師の診察を受けてください。

## おたふくかぜ

- ・接種後4週間は、副反応の出現に注意しましょう。
- ・接種後2週間から4週間後に一過性の耳下腺腫脹や発熱を認めることがまれにありますが、1～2日で消失します。まれに髄膜炎の報告もあります。

### まれに生じる重大な副反応として

ショック、アナフィラキシー様症状（じんましん、呼吸困難など）、血小板減少性紫斑病（接種後数日から3週ごろに紫斑、鼻出血、口腔粘膜出血等があらわれることがあります）、脳症、けいれん等がみられた場合は、すみやかにかかりつけの医師、もしくは接種医にご相談ください。

## 予防接種による健康被害救済制度について

予防接種は、予診票及び当日の診察で実施の適否を判断し慎重におこなっております。しかし、まれに通常の反応より重い副反応が生じることがあります。副反応による健康被害が生じたときは、次のような救済制度があります。

### 【定期接種】

定期予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく給付を受けることができます。その健康被害が予防接種によって引き起こされたものか、別の要因によるものなのかの因果関係を国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合、健康被害の程度に応じて、法律で定められた金額が支給されます。

### 【任意接種】

市の助成で実施した任意接種によって起きた健康被害については、市独自の救済措置の適用があります。

市が行う予防接種による健康被害が生じた場合には、健康増進課にご連絡ください。